

[illegible]

⑤一般塗料

呼び名	部位	区分	種別	備考
S O P	木部（新規）	・屋外・屋内	■A種 ■B種 ・C種	屋外：A種 屋内：B種
	木部（塗替）	・屋外・屋内	・A種 ■B種 ・C種	
	鉄鋼面（新規）	・屋外・屋内	・A種 ■B種 ・C種	屋外：A種 屋内：B種
	鉄鋼面（塗替）	・屋外・屋内	・A種 ■B種 ・C種	
	亜鉛めっき鋼面（新規）	・屋外・屋内	・A種 ■B種 ・C種	
	亜鉛めっき鋼面（塗替）	・屋外・屋内	■A種 ■B種 ・C種	鋼製建具：A種 その他：B種
C L	木部	・屋外・屋内	・A種 ■B種 ・C種	
N A D	コンクリート・タタ面等	・屋外・屋内	・A種 ■B種	下地調整：R B種
D P	鉄鋼面	・屋外・屋内		
E P - G	面鉛めっき鋼面	・屋外・屋内		
	コンクリート・EOP面	・屋外・屋内	・A種 ・B種 ・C種・1種・2種	
	CO・MO・タタ面等	・屋外・屋内	・A種 ■B種 ・C種	新規：・A種 ・B種
	木部	・屋内	■A種 ■B種 ・C種	■新規の場合：A種
E P	鉄鋼面	・屋外・屋内	・A種 ■B種 ・C種	新規：・A種 ・B種
	面鉛めっき鋼面	・屋内	■A種 ・B種	■新規の場合：A種
U C	CO・MO・タタ面等	・屋外・屋内	・A種 ■B種 ・C種	新規：・A種 ・B種
O S	木部	・屋外・屋内	・A種 ■B種	新規：1液型 ・2液型
W P	木部	・屋外・屋内	・A種 ■B種	

6 耐候性塗料塗り（DP）

上塗り塗料の等級 ・1級 ○2級 ・3級

⑧

①一般事項

石綿等の取扱については、石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)(以下、「石綿規則」という。)、大気汚染防止法(環境省)を遵守すること。

●石綿含有建材の事前調査

○大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、その他石綿処理に関する諸法令等に基づき実施すること。

○石綿の事前調査は、建築物石綿含有建材調査者講習登録規程に規定する建築物石綿含有建材調査者等、一定の知見を有する者が実施するように努めること。なお、令和5年10月1日以降に解体・改修工事に着手する場合は、建築物石綿含有建材調査者等資格者によるものとする。

○事前調査結果は書面で発注者に説明すること。

○事前調査結果を作業場に備え付け、事前調査結果および作業内容等の提示すること。

○工事に係る部分の床面積の合計が80㎡以上の建築物の解体工事、請負金額100万円以上の建築物の改修工事等の事前調査を実施したときは、その結果を工事開始日までに石綿事前調査報告システムにより労働基準監督署、県および発注者に書面で報告すること。

●アスベスト含有材の分析

- ・ 行う(分析結果は監督職員に提出する。)
- ・ 行わない

○ 分析方法 ■ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。

●工事前の調査、分析等

種別	調査範囲	調査、分析結果概要等
天井：軟質石綿板	浴室天井	アモサイト含有
床：ビニアスタイル	給湯室床	アスベスト含有(みなし)

②除去工事共通事項

専門工事業者

アスベスト含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。

作業主任者の選出

石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特任化学物質等作業主任者技能講習を終了したもののの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。

除去作業者の教育

作業者は、就業時に石綿規則第27条に基づく教育を受けたものとする。

また、一般健康診断、じん肺健康診断を受診したものとし、肺機能に異常のないものとする。

特別管理産業廃棄物管理責任者の選出

選出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを選任し管理しなければならない。

ただし、アスベスト含有成形板の処理工事を除く。

表示及び掲示

見やすい箇所に次の表示及び掲示を行う。

- アスベスト作業主任者名と職務内容
- 関係者以外立入禁止
- 喫煙・飲食の禁止
- 「アスベスト除去作業中」の表示
- アスベストの有害性
- 取り扱い上の注意事項
- 使用する保護具

周辺住民の見やすい箇所に以下の表示を行う。

- 「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ(労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制装置、曝露防止措置等)」
- 事前調査結果

保護具、保護衣

■ 作業内容に応じた、呼吸用保護具、保護めがねを使用すること。

除去したアスベスト含有物の保管、運搬等

■ 他の内装材、廃棄物等と分別保管

■ 保管場所での飛散防止を施す。また、アスベスト成形板を運搬する場合は、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。

■ アスベスト等の保管場所である旨の表示を行う。

アスベスト含有吹き付け材の除去工事(下地調整材の除去)

- ・ 行う
- ・ 行わない

適用範囲 ■ 図示

養生等

- 養生シート(床面：0.15mm以上のプラスチックシート等で二重)等を用い、飛散防止を行う。

除去工法

- 集塵機能付グラインダー工法 ・集塵装置付超高压水洗工法

環境測定(アスベスト飛散確認)

- 除去工事前：4箇所
- 除去工事後：4箇所

除去物及び汚染物等

処理方法

- 密封処理(二重袋梱包)

4 アスベスト含有保温材等の除去

アスベスト含有保温材の除去工事

- ・ 行う
- ・ 行わない

適用範囲 ■ 図示 ・(煙突内)

養生等

- 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。

置き落とし、破砕、切断による除去方法

- 行わない
- ・ 行うこの場合は改修難仕<9.1.3>「アスベスト含有吹き付け材の除去」によること。

除去工法

- 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。
- 除去物については改修難仕<9.1.3(b)>により、密封処理とする。

作業場等の隔離等

- 作業場は以下によるものとし負圧粉じん機にて負圧状態により飛散防止をすること。

隔離シートの性能

■ 床面	■ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重
■ 壁面	■ 0.08mm以上のプラスチックシート等

ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承諾を得ること。

セキュリティゾーンの設置

- 下表による

適用	室名	状態
■ 更衣室	■ 更衣室	■ 更衣ロッカー
		■ 新品の保護具
■ 洗浄室	■ 負圧	■ 呼吸用保護具保管箱
		■ 洗面、うがい設備
■ 前室	■ 負圧	■ エアシャワー(温水シャワー)
		■ 高性能真空掃除機
		■ 使用済み保護衣保管かこ

ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承諾を得ること。

除去物及び汚染物等

処理方法

- 密封処理(二重袋梱包)
- 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。
- ・ セメント固化

アスベスト含有成形板等の除去工事

- 行う
- ・ 行わない

適用箇所 ■ 図示 ・コーキング材

養生

- 作業場は、シート等により囲うこと。

除去工法

- 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。
- やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。
- 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕されたアスベスト含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。

除去工法

- ・ 集塵機能付グラインダー工法 ・集塵装置付超高压水洗工法

全ての作業が終了後、除去した場所及び保管場所にアスベスト含有吹き付け材等、保温材・成形板の廃材がないことを確認する。

作業区域内外の作業前、作業中、作業後のアスベスト粉じん濃度を測定し報告書を提出するものとし、測定ポイント位置は監督員との協議による。

アスベスト粉じん濃度測定

測定時期	測定名称	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	備考
処理作業前	測定1	処理作業室内	各2点又は3点	注1
	測定2	調査対象室外部の付近	計2点	大気
処理作業中	測定3	処理作業室内	各2点又は3点	注1
	測定4	負圧、除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/sec以下の位置各2点	
	測定5	処理作業室外	4方向1点(敷地境界)	
処理作業後 (シート養生中)	測定6	処理作業室内	各2点	
処理作業後 シート撤去後 1週間以降	測定7	処理作業室内	各2点又は3点	注1
	測定8	調査対象室外部の付近	計2点	大気

注1 各施工箇所ごとの室面積が50㎡以下までは2点、300㎡以下までは3点とする。300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。

アスベスト粉じん濃度測定方法

項目	名称	測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8	測定5
計数機器	位相差顕微鏡			
メンブレンフィルタの直径		25 mm		47 mm
試料の吸引流量		1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間		5 min	120 min	240 min
試料の透明化		アセトントリアセチン法又はシュウ酸シエチル法		
計数条件		総アスベスト繊維数200本又は視野数50視野		
計数アスベスト		直径3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比3:1以上		
定量限界		50 f/1	0.5 f/1	0.3 f/1

3 アスベスト含有吹き付け材の除去

配置図

北部振興局及び公民館 耐火構造			
確認番号	： 滋確-第7号		
確認年月日	： 昭和54年5月19日		
検査済証番号	： 不明		
検査済証年月日	： 昭和55年8月28日		
建築面積	： 2,396.72 ㎡		
延床面積	： 4,617.54 ㎡		

長浜市

NAOHATAMA

北部合同庁舎旧議場及び日直室改修工事

DRAWING NAME

A1-SCALE A3-SCALE

特記仕様書2

付近見取り図・配置図

No.

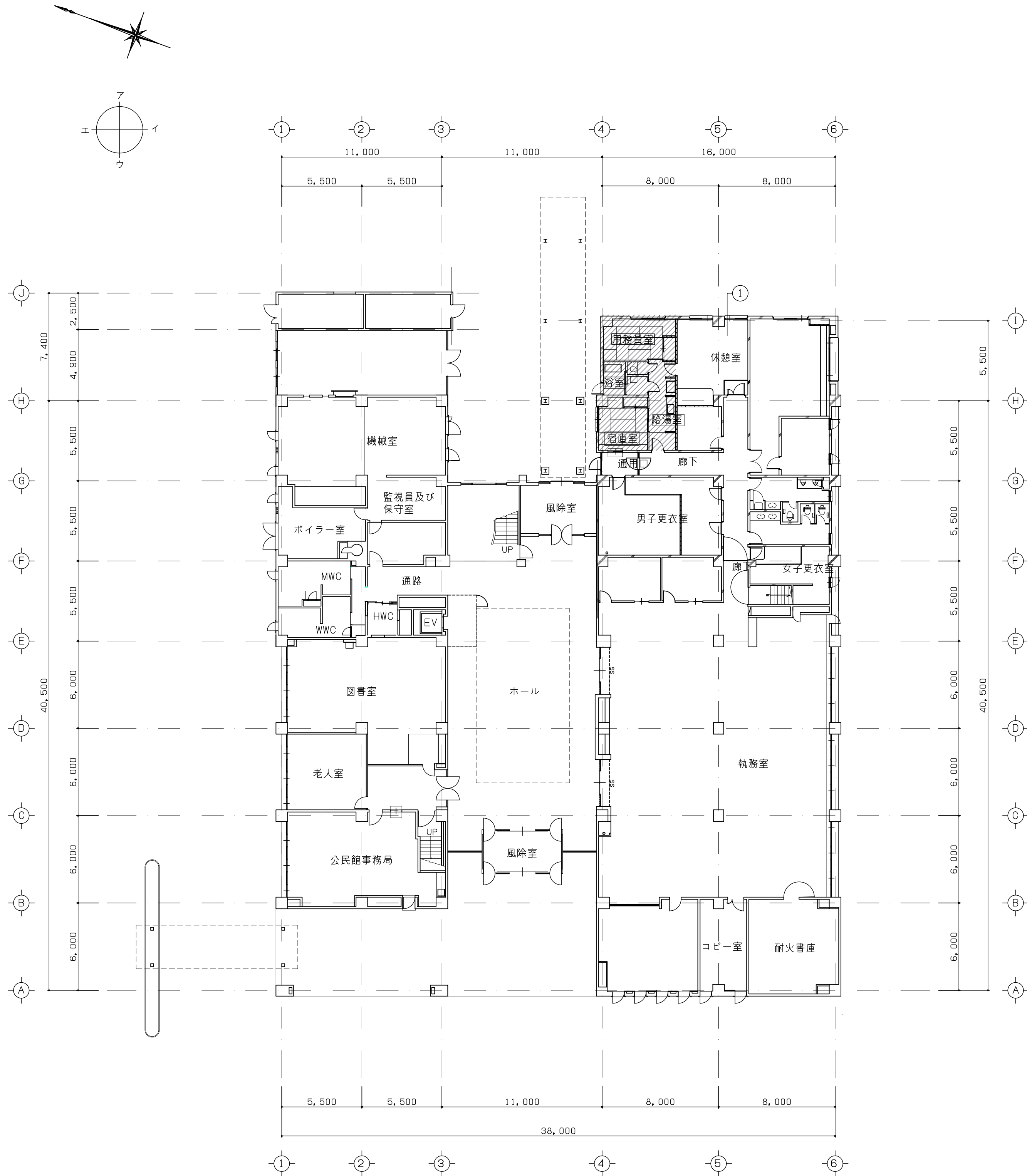
14032308

A

2

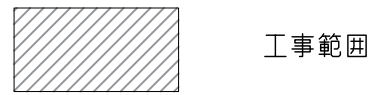
8

1 階平面図

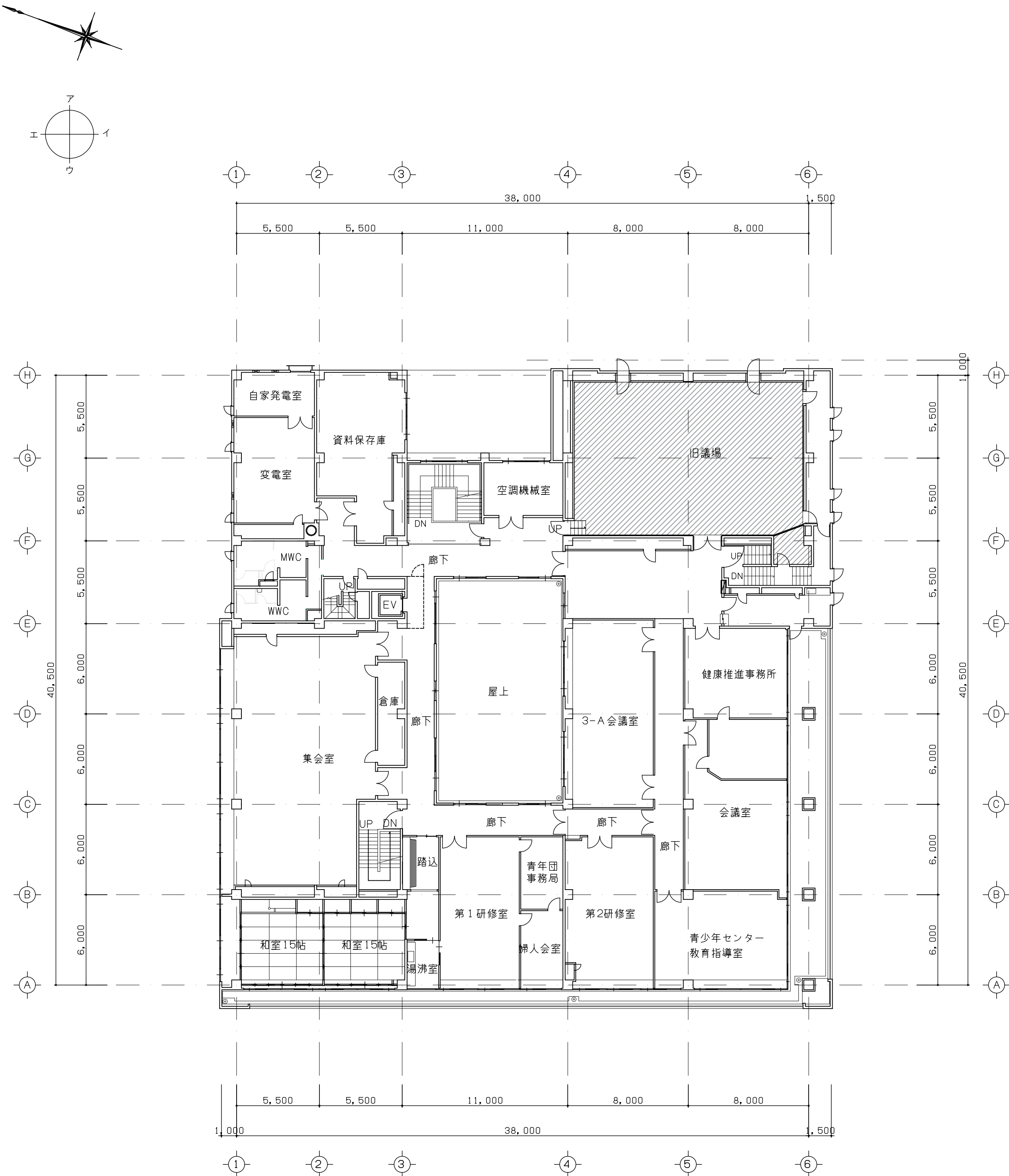


【改修概要】

符号	階	部屋名	改 修
1	1	用務員室	既存物入れ撤去し、内装改修
2	1	浴室	既存浴槽、内装材撤去しシャワーユニット設置
3	1	宿直室	既存物入撤去し、内装改修
4	1	給湯室	既存流し台等撤去し、内装改修

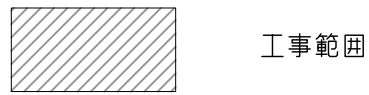


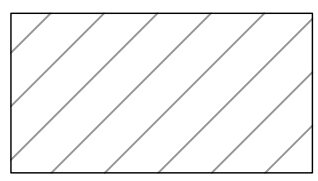
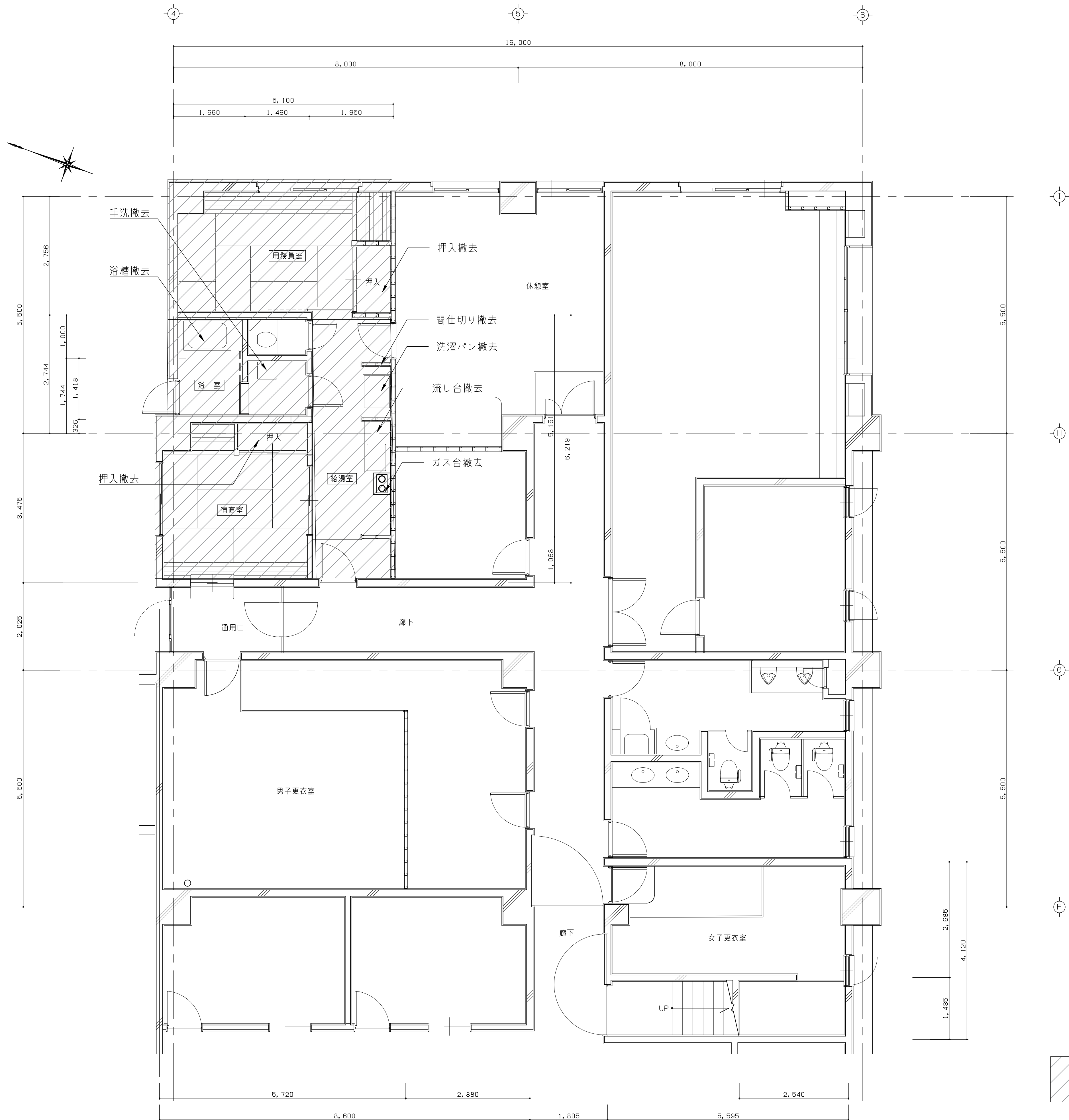
3階平面図



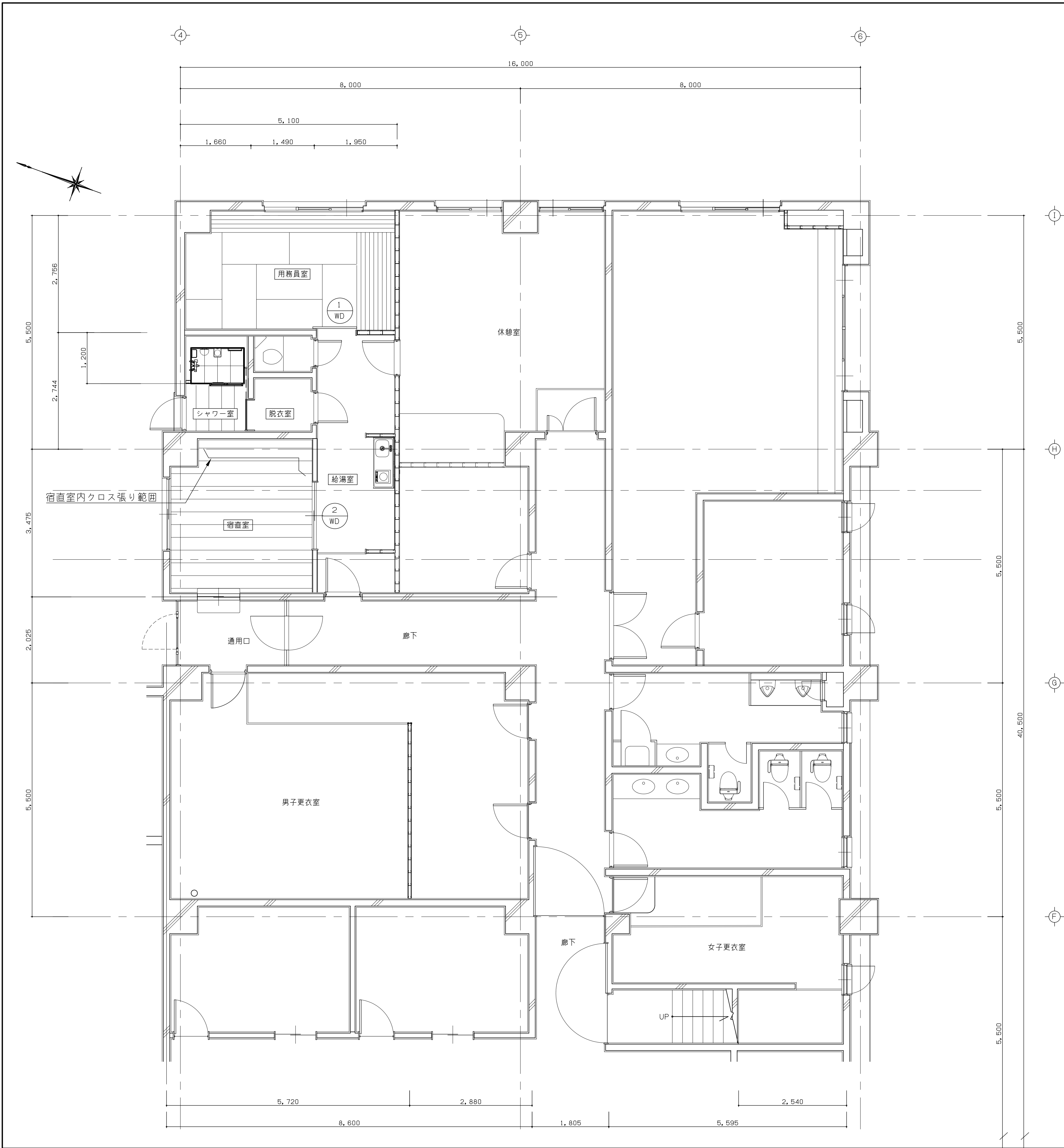
【改修概要】

符号	階	部屋名	改 修
5	3	議場	既存作り付け机、椅子等の撤去処分 段差部に木製スロープ設置（4箇所） スチールラックの設置（18台）

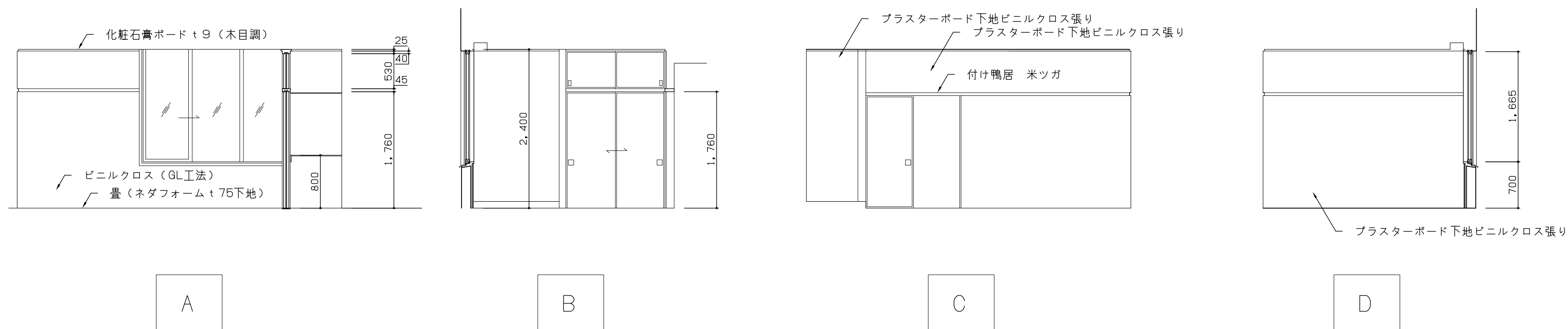




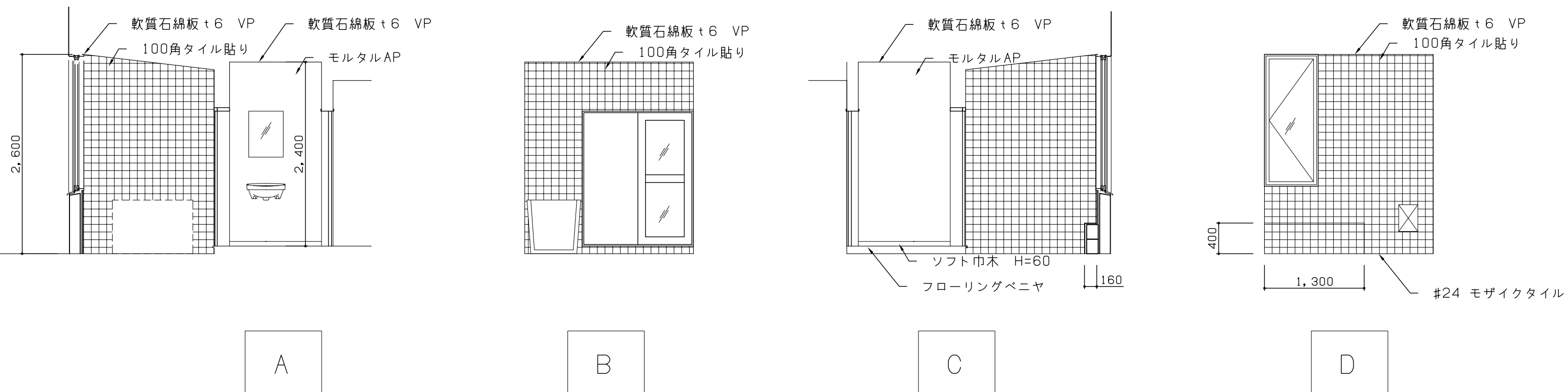
工事範囲



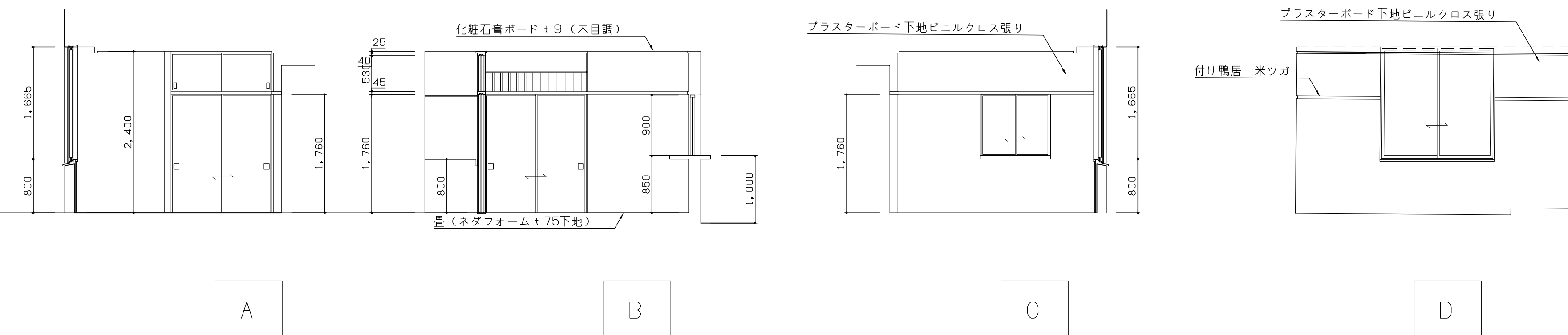
① 用務員室



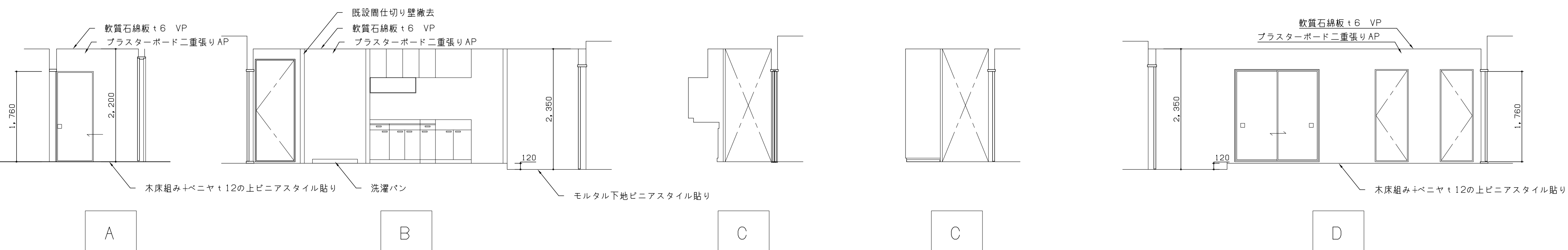
② 浴室



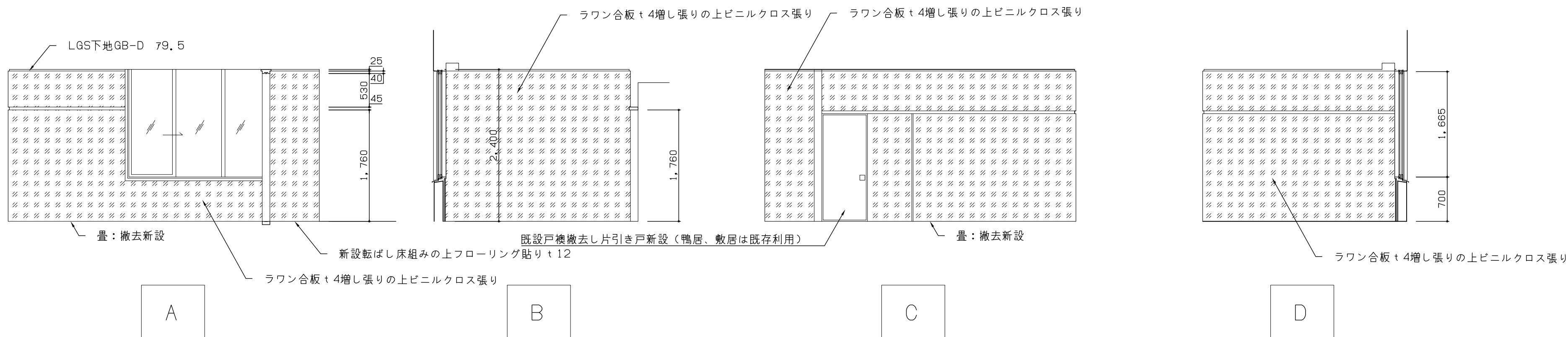
③ 宿直室



④ 給湯室

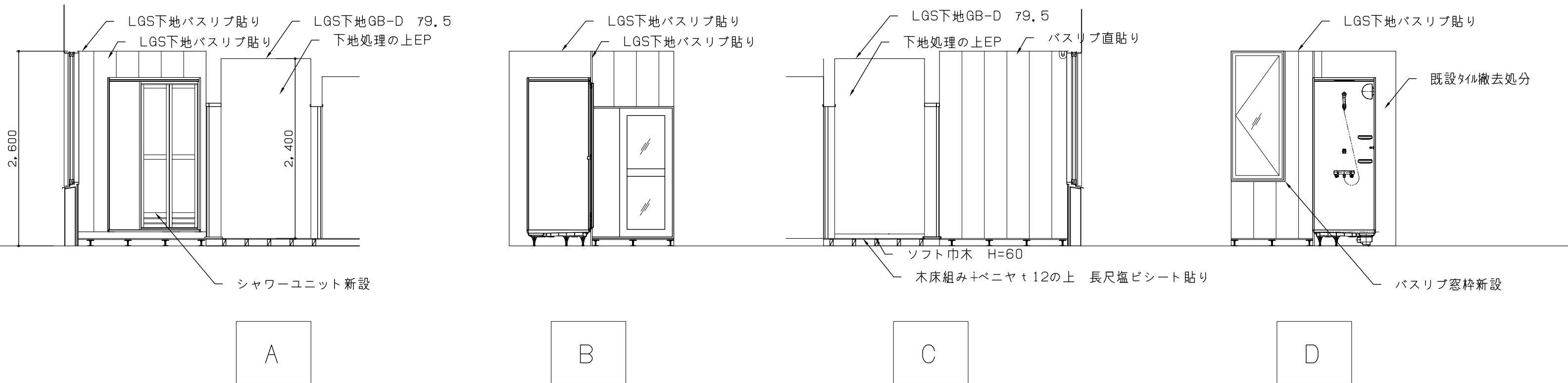


① 用務員室

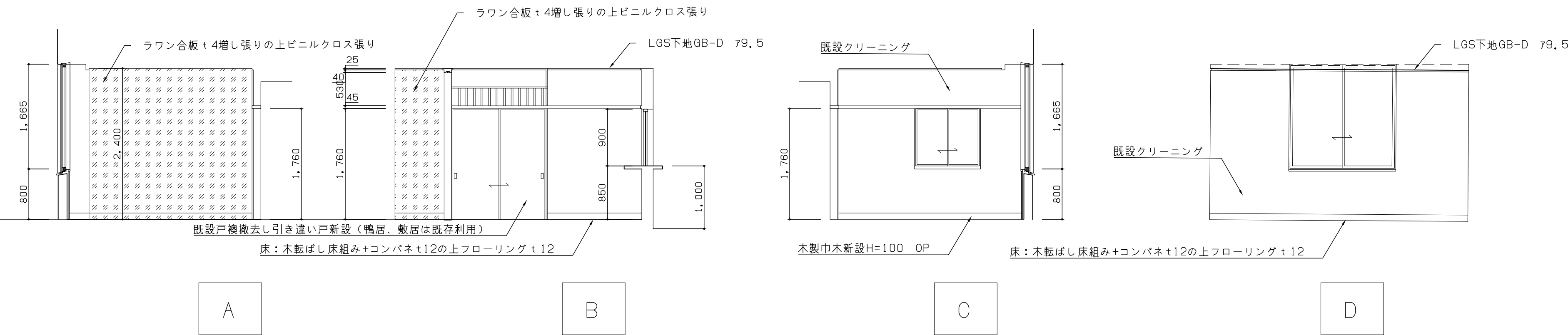


① HD 既設		1	① WD 改修		1
名称・見込み	戸襖	36	名称・見込み	片引き戸	36
材質・塗装	-		材質・塗装	木製・ポリ合板	
ガラス	-		ガラス	-	
金物			金物	堀込取手、戸車	
備考	既設枠残し、撤去すること		備考	既設枠SOP塗装	

② 浴室

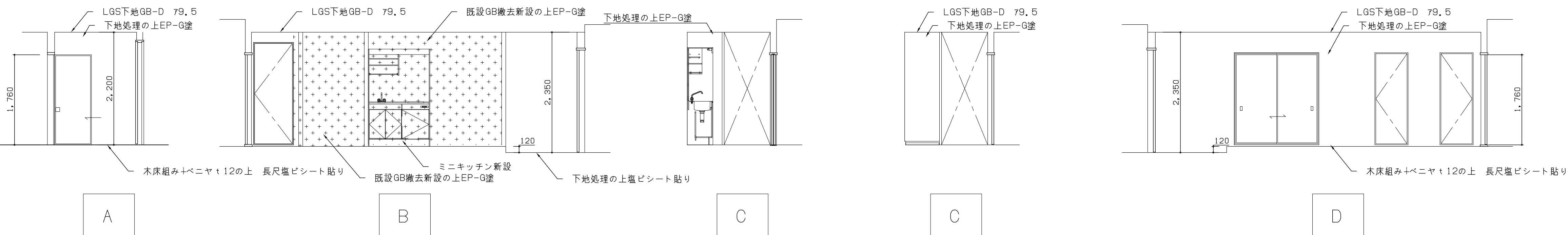


③ 宿直室



② HD 既設		1	② WD 改修		1
名称・見込み	戸襖	36	名称・見込み	引き違い戸	36
材質・塗装	-		材質・塗装	木製・ポリ合板	
ガラス	-		ガラス	-	
金物			金物	堀込取手、戸車	
備考	既設枠残し、撤去すること		備考	既設枠SOP塗装	

④ 給湯室



木之本町庁舎、公民館、新築工事設計図

株式会社 久米建築事務所

K U M E ARCHITECTS-ENGINEERS

DRAWN

2021年 178680

大體議論過，下面詳細說

고려시대



ラック③： 4台 (W1,500mm×D450mm×H1,200mm) 棚数4段
耐荷重 120kg/段

傍聴席、記者席等全て撤去処分

木製スロープ新設（4か所）

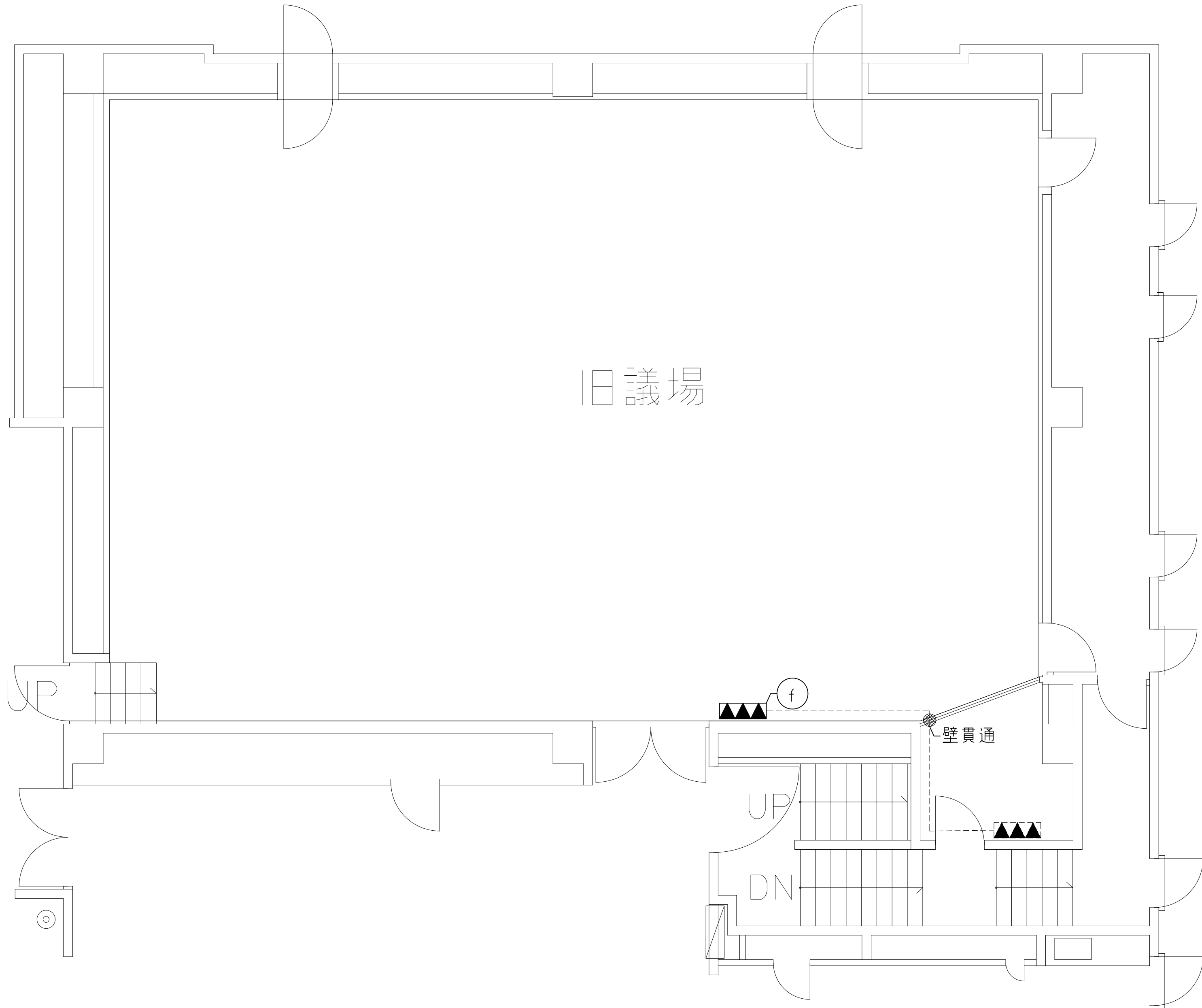
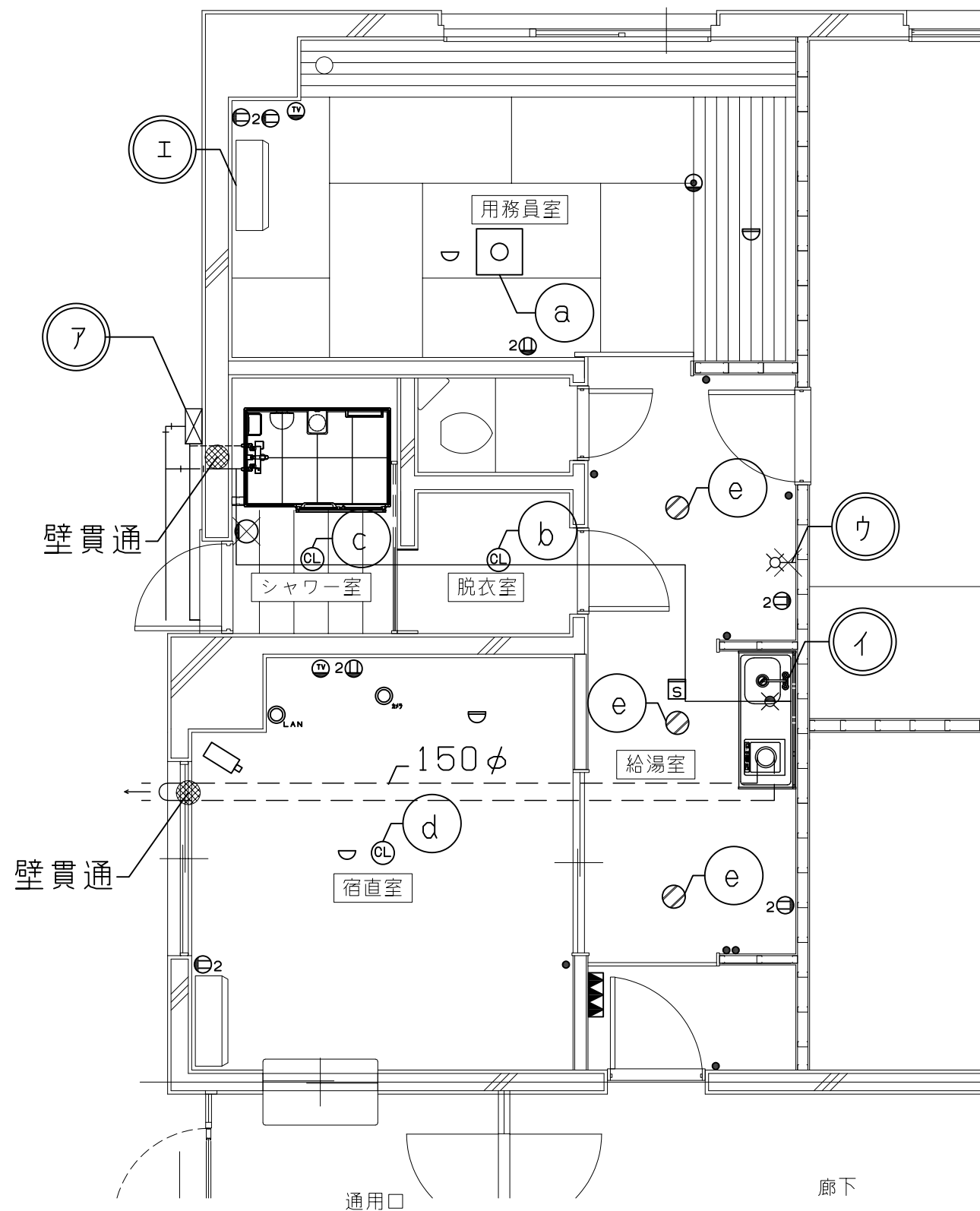
1	TITLE

北部合同庁舎旧議場及び日直室改修工事

DRAWING NAME	A1-SCALE	A3-SCALE	No.	14032308
--------------	----------	----------	-----	----------

3階平面詳細図 . . .	1:50	1:100	A	8
---------------	------	-------	---	---

8



電気設備工事内容

室 名	番 号	工 事 内 容
用務員室	㊦	角型引掛シーリング撤去、新設・ペンダントライト撤去、新設(参考品番：LGB12625LE1：パナソニック)
脱衣所	㊧	シーリングライト撤去、新設（参考品番：LGW85067LE1：パナソニック）
シャワー室	㊨	既設ブラケットライト撤去、シーリングライト新設（参考品番：LGW85067LE1：パナソニック）
宿直室	㊩	角型引掛シーリング撤去、新設・ペンダントライト撤去、シーリングライト新設（参考品番：LGC3111D：パナソニック）
給湯室	㊪	既設ダウンライト撤去、新設（参考品番： XND0669WNLE9 ：パナソニック） 3台
議 場	㊫	リモコンスイッチ配線（CPEV0.65-10P）延長、壁面はメタルモールで保護のこと
※指示なき機器については改修工事に伴う脱着を見込むこと。		

機械設備工事内容

室 名	番 号	工 事 内 容
シャワー室	㊨	シャワーユニット新設 (参考品番： JSV0812ULW3AK 換気扇 IKJC5 サーモ短尺スパウト SSGFS 収納 ESE4L TOTO同等品) ガス給湯器 (RUX-1611G0-AE リンナイ) 撤去、新設 (参考品番： 新設ガス給湯器 RUX-A1613G リンナイ同等品) 最寄既設給水管より分岐接続、給水管(給湯器二次側) 撤去、新設：HIVP15A 保温：グラスウール+SUS 給湯管(給湯器二次側) 撤去、新設：HTVP15A 保温：グラスウール+SUS ※保温工事の材料、施工順序及び厚さは標準仕様書のとおりとする。 電源、リモコン線はVE管で保護し、壁貫通部はブルボックスを設けること。
給湯室	㊪	流し台、ガス台 撤去、新設 (参考品番： 新設ミニキッチン KUW-120DIL(W), U-120KUWEL(W)-1, KM17NECNTK, CH-11CTA, VD-18Z13 接続ダクト径150 タカラスタンダード同等品 、SUS丸形フード付きガラリ) 最寄既設給水管より分岐接続、給水管(給湯器二次側) 撤去、新設：HIVP15A 保温：グラスウール+SUS 既設ガス配管撤去し端部キャップ止め
	㊫	既設洗濯パン撤去処分（給排水共端部処理のこと）
用務員室	㊦	壁掛けエアコン 撤去、新設 (参考品番：新設エアコン MSZ-GV2523-W 三菱電機 同等品) 附属品：冷媒渡り配管 Cu6, 35φ Cu9, 52φ 内外連絡線 コンクリート基礎200H 防振パッド 平置台500Hメッキ製